



有楽町側の上屋。キャンドルのように光る上屋が銀座の街を彩り、地下の街までやさしくつなぎます。



ホテルのロビーのような銀座駅のホーム。煉瓦のタイルとガラスブロックによる光のキャンドルが、気品と風格のある空間を演出します。

今日は、福岡の母が上京してくる日。
銀座駅がリニューアルしたとTVでみたので、たまには銀座で贅沢しようと、休みの夫に子供を任せ、母と二人で久しぶりのデート。
銀座のホームに着くと、心地よいメロディとともに、ホテルのロビーのような空間が迎えてくれた。
え、ここ地下鉄の駅だよね?と思うほど。
ホームと電車の境には、小さくておしゃれな自動ドアがあって、なんだか安心。
改札を出ると、爽やかな香りとともに、明るく華やかな空間が広がる。
わあきれい、たくさんのアロマキャンドルが迎えてくれてるみたい。
煉瓦の壁にはショーウィンドウが小気味よく並び、真っ白な天井と、幻想的に光る柱が通路を明るくしていく、思わず地下にいることを忘れてしまいそう。
リズミカルに並ぶ光の柱につられて、ウインドウショッピングな気分を楽しみながら歩いていると、いつの間にか母との待ち合せ場所に到着。
そこは、ハイカラな香りがするサロンのような場所で、たくさんの人達が座り、お茶をしながら談笑していた。
母が私に気づいて、手を振っている。
「待った?」と聞くと、「だいぶ早く着いたんだけど、そこの銀シェルジュで、おすすめスポットを色々教えてもらったから、あっという間だったわ」と。
「駅の人は親切だし、くつろげる場所もたくさんあって、東京はいいわね」と、母が嬉しそうに言う。
「じゃあ行こうか、お母さん。今日は良い1日になりそうね」と言うと、「そうね」と母が微笑んだ。

銀座の街が、私たちをやさしく迎えてくれた。

「a-roma」

a - roma
愛浪漫の香りをとどける銀座駅。

「a-roma」 = 香り、味わい、趣、気品、風格

「愛」= 守る心、おもてなしの心 + 「浪漫」= 未来への夢、あこがれ

文化・流行の発信地として、艶やかで味わい深い伝統を紡いできた銀座。

そんな銀座のまちとともに、長い歴史を歩んできた地下鉄銀座駅を、新しい気品と風格を纏った、「愛」と「浪漫」溢れる現代のアロマで満たし、新しく生まれる銀座プレミアムによって、訪れる人々を心地良く、おもてなし致します。そしてそのアロマは、時とともに変化しながら、趣ある香りを、次代へ残し続けます。

「燈 (akari) のキャンドル」

かつて銀座煉瓦街に灯っていたガス灯を彷彿させる燈のキャンドルが、

銀座の地下のまち全体に、懐かしくも新しい彩りを与えます。



真っ白な天井と光る柱、また柱廻りの床の一部を磨きの黒い石にすることによって、柱が天井と床に映り込み、せまい空間を広く感じさせます。同時に柱の重たい存在感を消しつつ、銀座らしい艶のある雰囲気を演出します。



お茶をしながらゆっくり待ち合わせができるサロンと銀座の街の案内をするコンシェルジュカウンター。



銀座駅改札口廻り。カーテンのように柔らかい光のキャンドルが改札口をやさしく包みます。キャンドルがさまざまにかたちを変えて、地下の街を彩ります。



銀座四丁目側の上屋。銀座駅全体で上屋のデザインのスタイルを合わせ、街全体の統一感を演出します。

MTR-1002